

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会  
平成28年 新年交札会開催



一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 平成28年 新年交札会が、1月8日(金)午後5時からANAクラウンホテルグランコート名古屋(名古屋市中区)にて会員400名が出席して、参議院議員、愛知県知事、環境省中部地方環境事務所、愛知県、名古屋市、豊橋市の行政担当者、関係諸団体の役員、と多数の来賓をお迎えして盛大に開催されました。



新年の挨拶を述べる永井会長  
新年交札会は、小島 晃副会長の開会の辞で始まり、年頭の挨拶で永井良一會長は「新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはご家族共々新年を迎られ益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃より当協会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて近年の異常気象による広島、福井、長野、関東、東北の集中豪雨は、人々の命や生活を脅かす状態となっております。愛知県でも平成12年に集中豪雨による大災害を経験しております。当協会では東海豪雨から15年後、昨年の9月1日に、今後30年以内に70%程度の確率で発生すると言われている南海トラフ巨大地震に対応するため、愛知県内54市町村と災害廃棄物処理等に関する協定を締結しました。

新年交札会は、小島 晃副会長の開会の辞で始まり、年頭の挨拶で永井良一會長は「新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましてはご家族共々新年を迎られ益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

また万が一災害にあった場合、迅速かつ的確に対応するため昨年の3月末にBCP(業務継続計画)を策定し、災害廃棄物処理等に関する協定の実効性を高めるため市町村とも連携し万全な備えとなるよう取組を進めております。会員の皆様にはご苦労をおかけしますが、あってはならない災害が発生して、各市町村より災害廃棄物の撤去の要請があった場合、速やかに産業廃棄物で培ったノウハウを發揮していただくように、積極的なご支援ご協力をお願いします。また本年も協会発展のため引き続き循環型社会の構築のため優良処理業者の育成、CSR活動等安全安心な地域社会作りに積極的に取組んでいく所存であります。今後ともよろしくご協力をお願い申し上げます。最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして新年のご挨拶をさせていただきます。」と今年の抱負を述べました。

続いて来賓で出席された自由民主党参議院議員 産業・資源循環議員連盟事務総長 片山さつき氏よ



新年の挨拶を述べる  
自由民主党片山参議院議員

り「新年あけましておめでとうございます。産廃業界は歴史と伝統のある業界ですが、一昨年まで産廃業界を振興する専門の議員連盟がありました。度重なる自然災害からのBCPの策定及び災害協定の締結、また一廃なのか産廃なのか、概念論を論議しても現場では処理できないということがあります。こういった流れの中で議員連盟を作るということになりました。丹羽雄哉元厚生大臣およびこの分野の先達の方々を顧問としてお招きして議員連盟を立ち上げ、税制改正等について頑張っております。現在安倍政権はGDP（国内総生産）600兆円一億総活躍、企業は内部留保を貯めず投資するよう勧めていますが、一番伸びる分野が産廃



#### 〈平成28年 新年交礼会ご来賓〉（順不同・敬称略）

愛知県知事	大村 秀章
内閣府大臣政務官自由民主党参議院議員	酒井 康行
自由民主党参議院議員 産業・資源循環議員連盟事務総長	片山さつき
愛知県議会議員	直江 弘文
環境省中部地方環境事務所 所長	三村 起一
環境省中部地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 課長	小岩 真之
愛知県環境部長	杉浦 健二
愛知県環境部次長	菅沼 純子
名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長	田口 則雄
豊橋市環境部廃棄物対策課 課長	鈴木 利幸
公益財団法人 愛知臨海環境整備センター 専務理事	渡邊 修
公益財団法人 愛知臨海環境整備センター 常務理事	原田 弥生

業界です。また電力のシステムもこの4月より大きく変わります。私はエネルギー局ですが、再生エネルギーの委員長に就きました。何故ならば、この業界に深く関わるために二つ返事で引き受けました。来週から再生可能エネルギーの固定価格買取制度の見直しに入りますが、地域分散型のエネルギーを確立していく上で、我々が頑張らなくてなんのためのアベノミクスであろうか、と言わなければなりません。また長年要望のありました業界振興法の必要性については、しっかりと票を取りこの業界の強みをみせ、8月以降に振興法に向けて動き出したいと思っています。この愛知は産業が盛んで産廃業界にも勢いがあります！この東海中京地域から政界に向けての狼煙を上げていくために頑張っていきます。」と力強い挨拶を述べられました。



新年の挨拶を述べる環境省中部地方環境事務所 三村所長

続いて来賓で出席された環境省中部地方環境事務所 所長 三村起一氏より「新年あけましておめでとうございます。愛産協の皆様方におかれましては、産業廃棄物の適正処理の徹底や最終処理の推進、不法投棄防止パトロール、マニフェスト普及管理の取組や、藤前干潟の不法投棄ごみの撤去作業につきまして、この場をお借りしてお礼を申し上げます。昨年のパリ協定では、わが国の主張が多く取り入れられ全ての国が参加して、公平

一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会	理事長	粥川 長司
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会	専務理事	長谷部政行
公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会	会長	鈴木 洋佑
公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会	専務理事	秋田 勝
一般社団法人 三重県産業廃棄物協会	会長	木村 亮一
一般社団法人 三重県産業廃棄物協会	専務理事	筒井 照雄
中部産業廃棄物厚生年金基金	代表清算人	新井 相権
一般社団法人 中部経済連合会	産業振興部長	祖山 薫
愛知県中小企業団体中央会	振興部 次長	牛丸 積
愛知県衛生事業協同組合	理事長	永田 喜裕
愛知県衛生事業協同組合	事務局長	伊藤 勝至
名古屋市一般廃棄物事業協同組合	理事長	新美 三良
名古屋市一般廃棄物事業協同組合	事務局長	吉田 隆

かつ実効的な枠組みが採択されました。廃棄物の分野でも廃棄物からのエネルギーの回収、また高度なりサイクルによる物質の循環型化、低炭素化、こういったことを総合的に実現するアプローチが求められており、本日お集まりの皆様方の持つ高度な技術に大いに期待をしています。また、温暖化の影響は世界各地に見られ、わが国でも台風や集中豪雨による大きな水害が毎年のように起こり、南海トラフ巨大地震についても大規模な地震や津波に対する備えと広域的な連携体制の構築をすすめていく必要があります。こうしたことから私どもは中部ブロックの県、必要な市、各県の産廃協会で構成される、大規模災害時廃棄物対策中部ブロック協議会において、昨年から災害廃棄物に関する広域連携計画について、具体的な検討が始まっています。皆様方にはこの準備段階の連絡会にご参画いただいておりますが、引き続きご意見、ご助言をいただき実効性のある広域連携構築に向けてご協力いただきますよう、よろしくお願ひいたします。結びとなりますが、孫子の代までこの地域が美しくあり、持続可能な社会が形成されますよう願っております。」と挨拶を述べられました。

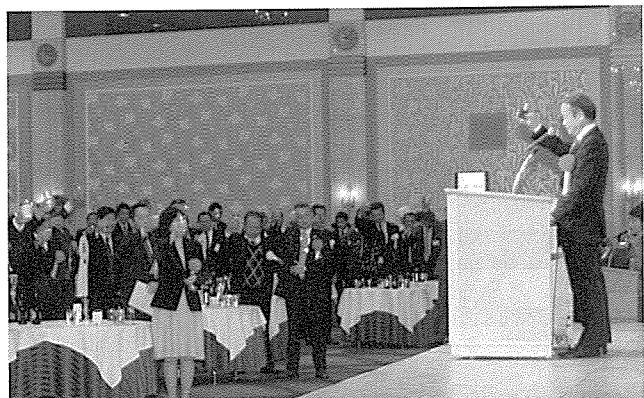
その後司会者より、関係者としてご列席の来賓の方々のご紹介がありました。

乾杯の音頭は、愛知県議会議員 直江弘文氏の発声で、新春懇親会が始まりました。



スイートボイスによるアトラクション

舞台ではアトラクションが始まり、女性コーラスグループ「スイートボイス」の華やかな歌声が会場に響き、新春ムードを一層盛り上げました。歌われた楽曲は、A BBAなど懐かしい曲が多く、参加者からの鼻歌も聞こえ、皆様が楽しんでいる様子がうかがえました。途中、近藤成章前会長がアトラクションに飛び入り参加され、会場が沸き賑やかなムードになりました。



直江愛知県議会議員の発声で乾杯が行われました。



新年の挨拶を述べる  
自由民主党酒井参議院議員



新年の挨拶を述べる  
大村愛知県知事

宴もたけなわの中、内閣府大臣政務官自由民主党参議院議員 酒井庸行氏が到着され、新年の挨拶と、アベノミクス効果についての期待を述べました。

愛知県知事 大村秀章氏からは新年の挨拶と、県民生活の支えとなっている産廃業界にお礼が述べられました。また、昨年より自動車、航空宇宙産業、リニア、新幹線など話題が多く、産業経済を支えているのは静脈産業である産廃業界であり、今後も産業と環境の共存で進めていくとの力強い挨拶をいただきました。

閉会の辞は、平沼辰雄副会長による中締めで、新年交礼会はお開きとなりました。



歓談する永井会長と大村知事